

科目コード	R24201	科目名	理学療法学概論				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	甲田 宗嗣						
授業の概要	理学療法学を学ぶにあたり、基本的な態度と知識を身につける。理学療法基礎となる歴史、法的根拠、障害モデルなどを包括的に俯瞰し、4年間のカリキュラムにおける各科目の必要性を説く。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	医療専門職になるために自ら学びを深める態度を養い、自ら意見や疑問を述べるができる。 理学療法士及び作業療法士法を理解し、倫理的に立ち振る舞う重要性を説明できる。 疾病により生じる障害を障害モデルに従って説明できる。 理学療法プロセスを理解し、疾患ごとの典型的な障害や理学療法を調べることができる。						
履修上の注意事項	C-learningを利用するので、スマートフォン等にインストールし、準備しておくこと。12～15回目は演習を行うので、自身のパソコンを使用できるように準備しておくこと。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション ・教員自己紹介 ・学生自己紹介 ・大学での学び ・この講義を受講する際の留意事項				・事前学習：自己紹介の準備等（30分）・事前学習：Webページ全体の閲覧（30分）	
	2	理学療法とは ・法的定義 ・歴史				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	3	障害を取り巻く歴史 ・国連の取り組み ・ノーマライゼーション ・IL運動 ・日本の施策の変遷				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	4	障害とは(1) ・国際障害分類と国際生活機能分類				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	5	障害とは(2) ・ADL・QOL・バリアフリーとユニバーサルデザイン				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	6	理学療法とリハビリテーション ・リハビリテーション ・理学療法の位置付け ・チーム医療				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	7	理学療法を行うにあたり ・プロフェッショナリズム ・理学療法プロセス ・EBM ・診療ガイドライン				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	8	理学療法の実践(1) ・理学療法の対象となる生活機能				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	9	理学療法の実践(2) ・避けるべき3つの「用」				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	10	理学療法の実践(3) ・手段としての理学療法の構成				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	11	理学療法に関わる法律や制度 ・理学療法士及び作業療法士法 ・関連職種との法的関係				・事前学習：Webページ、リンク先の熟読（40分）・事後学習：質問・疑問の整理（20分）	
	12	演習：疾患ごとの典型的な障害や理学療法の方法を調べる ・課題の説明 ・演習				・事後学習：演習課題の作成（60分）	
	13	演習：疾患ごとの典型的な障害や理学療法の方法を調べる ・演習				・事前事後学習：演習課題の作成（60分）	
	14	演習の発表(1) ・グループ内発表 ・相互評価				・事前学習：演習課題の作成（60分）	
15	演習の発表(2) ・相互評価による優秀課題の全体発表				・事前学習：相互評価（60分）		
成績評価方法	期末試験80%、演習課題20%とし、それぞれで6割以上を満たした場合に単位認定の対象とし、合算して評点する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	プリント、独自作成のWebページを使用						
参考書							
教員からのメッセージ	分からない言葉はその都度辞書などで調べること。						
教員との連絡方法	C-learningを利用してください。						
実務経験のある教員	急性期病院での診療（整形外科、脳神経外科、呼吸器科、循環器科等）。回復期リハビリテーション病院の開業準備、診療（脳卒中、多発外傷、神経難病、脊髄損傷、下肢切断等）、管理業務。専門理学療法士（神経、運動器、基礎、教育・管理）、公認心理師、呼吸療法認定士。						